


# 令和3年度 そば栽培指針

適期播種・適期収穫・排水対策による安定生産と需要に応じた計画生産を！！

(共通注意)  
 施用量、使用量は、すべて10a当たりで表示している

作業暦	7月			8月			9月			10月			11月			12月																																			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																																	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【収量目標】 70kg/10a</div> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;">土づくり</div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>○土壌分析(pH、ECは必須)</p> <p>○石灰施用</p> <p>○排水対策</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>← 畦畔管理 →</p> <p>← は種 →</p> <p>← は種・出芽 →</p> <p>← 開花期 →</p> <p>← 開花盛期 →</p> <p>← 成熟期 →</p> <p>← 畦畔管理 →</p> </div>	<p><b>栽培上の注意</b></p>																		<p><b>10a当り使用量、回数、及び栽培上の注意</b></p>																																
1 種子の準備	品 種	<ul style="list-style-type: none"> <li>蕎麦信濃1号(秋そば)</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>品 種</td> <td>奨励品種編入年次</td> <td>昭和19(1944)年</td> <td>千粒重</td> <td>30.1g</td> <td>は種期</td> <td>8月5日</td> </tr> <tr> <td>特 性</td> <td>開花期</td> <td>8月30日</td> <td>花色</td> <td>白</td> <td>長野県野菜花き試験場 (塩尻市宗賀・標高750m)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>成熟期</td> <td>10月11日</td> <td>果皮色</td> <td>黒褐</td> <td>平成18～令和元年平均値</td> </tr> <tr> <td></td> <td>草丈</td> <td>115cm</td> <td>品質</td> <td>中上</td> <td></td> </tr> </table>																	品 種	奨励品種編入年次	昭和19(1944)年	千粒重	30.1g	は種期	8月5日	特 性	開花期	8月30日	花色	白	長野県野菜花き試験場 (塩尻市宗賀・標高750m)		成熟期	10月11日	果皮色	黒褐	平成18～令和元年平均値		草丈	115cm	品質	中上									
	品 種	奨励品種編入年次	昭和19(1944)年	千粒重	30.1g	は種期	8月5日																																												
特 性	開花期	8月30日	花色	白	長野県野菜花き試験場 (塩尻市宗賀・標高750m)																																														
	成熟期	10月11日	果皮色	黒褐	平成18～令和元年平均値																																														
	草丈	115cm	品質	中上																																															
粒 選	<ul style="list-style-type: none"> <li>異品種混入防止のため、購入種子を使用する。</li> </ul>																																																		
2 は種	播 種 期	<p><b>秋そば 7月下旬～8月中旬</b></p> <p>(注) 秋そばは成熟期前に初霜に遭わないようには種期を決めるが、早まきすぎると結実が悪く、草丈が伸びすぎて倒伏し易くなる(初霜日の70日前頃が適期)。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>標高</th> <th>900m以上</th> <th>800m</th> <th>700m</th> <th>600m</th> </tr> <tr> <th>は種期</th> <td>7/25～8/5</td> <td>7/30～8/10</td> <td>8/1～8/12</td> <td>8/1～8/15</td> </tr> </table>																	標高	900m以上	800m	700m	600m	は種期	7/25～8/5	7/30～8/10	8/1～8/12	8/1～8/15																							
	標高	900m以上	800m	700m	600m																																														
	は種期	7/25～8/5	7/30～8/10	8/1～8/12	8/1～8/15																																														
は 種 量	<p><b>10a当り 4～5kg程度(は種量が多いと倒伏しやすい)</b></p>																																																		
栽 植 密 度 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>条 播 畦幅70～80cm、まき幅15～20cm</li> <li>シーダー播 30cm、覆土は2cm位</li> <li>散 播 は播後ロータリーで浅かく拌</li> </ul>																																																		
3 ほ場準備	耕 起 ・ 碎 土	<p>堆肥1,000kgを全面散布しロータリーで耕起する。</p>																																																	
	施 肥	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">肥料名</th> <th rowspan="2">施用量</th> <th rowspan="2">基肥</th> <th rowspan="2">追肥</th> <th colspan="3">成分量</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>N</th> <th>P</th> <th>K</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥</td> <td>1,000 kg</td> <td>1,000 kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">炭酸苦土石 灰を100kg 入れる。</td> </tr> <tr> <td>BB372</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td>2.6</td> <td>3.4</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.6</td> <td>3.4</td> <td>2.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 水田転作の1作目は地力窒素が出るから、窒素は控えめに施                  2. 酸度矯正はpH6.0を目標とする。                  3. 湿害対策: 水田転換畑では必ず排水溝掘りを行う。</p>																	肥料名	施用量	基肥	追肥	成分量			備考	N	P	K	堆肥	1,000 kg	1,000 kg					炭酸苦土石 灰を100kg 入れる。	BB372	20	20		2.6	3.4	2.4	計				2.6	3.4	2.4
	肥料名	施用量	基肥	追肥	成分量			備考																																											
N					P	K																																													
堆肥	1,000 kg	1,000 kg					炭酸苦土石 灰を100kg 入れる。																																												
BB372	20	20		2.6	3.4	2.4																																													
計				2.6	3.4	2.4																																													
排 水 対 策	<p>排水対策は暗渠、補助暗渠、排水溝を組み合わせ周到に行う。さらに必要なら高畦にする。</p>																																																		
4 管理	中 耕 培 土	<p>畦幅70～80cmの条播きの場合 開花前に培土板をつけた管理機等で中耕培土を行う。</p>																																																	
	乾 燥 ・ 調 製	<p>乾燥: 生脱穀物を唐箕で粗選し、乾燥機、むしろ干し等で子実水分15%まで乾かす。過乾燥は風味をなくすので注意する。</p> <p>調製: 唐箕選により、屑、未熟粒、異物等を除去し、1袋23kgに包装して出荷する。</p> <p><b>* 調製はJA等の共同選別施設を利用する。</b></p>																																																	
5 雑草防除	<p><b>播種前までに最低2回は耕耘して、雑草を鋤き込むとともに十分に碎土しておく!</b>                  ※経費削減等の点からも、耕種的方法による雑草防除を基本とする。</p>																																																		
6 病害虫防除	① 耕起前又はは種前 雑草茎葉散布	一年生及び多年生雑草	<p>ラウンドアップマックスロード 200～500ml+水50～100ℓ(使用回数2回以内)                  少量散布の場合は200～500ml+水25～50ℓ 専用ノズルを使用すること。</p>																																																
	② 生育期 雑草茎葉散布	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	<p>ナブ乳剤 150～200ml+水100～150ℓ(イネ科雑草3～5葉期、収穫30日前まで、使用回数1回)</p>																																																
7 収穫・調整	適用病害虫(防除時期)	薬剤名	10a当り使用量、時期、回数																																																
	<p><b>経費削減等の点からも、耕種的方法による防除を基本とする。</b></p>																																																		
	ハスモンヨトウ	エコマスターBT	2,000倍、発生初期、収穫前日まで、100～300ℓ																																																
収 穫	刈 取 方 法	刈 取 時 期																																																	
	専 用 コ ン バ イ ン	<p>黒化率80%程度(開花盛期後の積算気温450～500℃)から収穫を開始する。</p>																																																	
<p>(注) 成熟期を過ぎると自然脱粒や刈取損失が多くなるので、適期刈取に努める。</p>																																																			
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>乾燥: 生脱穀物を唐箕で粗選し、乾燥機、むしろ干し等で子実水分15%まで乾かす。過乾燥は風味をなくすので注意する。</p> <p>調製: 唐箕選により、屑、未熟粒、異物等を除去し、1袋23kgに包装して出荷する。</p> <p><b>* 調製はJA等の共同選別施設を利用する。</b></p> </div> <div style="flex: 1; text-align: center;">  <p>図1: 主茎先端の集合花房</p> </div> </div>																																																			